

25C09

はじめてのウェルビーイング統計学

関連する SDGs :



申込フォーム

スマートフォンからも
お申込みできます

期 間 : 2025 年 5/24 (土) ~ 7/19 (土) [全 4 回]

場 所 : 尚綱学院大学長町サテライトプラザ

〒982-0011 仙台市太白区長町 5-3-1

たいはつくるイオプラザ 1 階

時 間 : 14:00~15:30

対 象 者 : 高校生以上で統計学と Well-being に興味がある方

教 材 : こちらで用意します

修了要件 : 3 回以上出席した方に修了証を発行予定です。

定 員 : 15 名

最少催行人数 : 10 名

受 講 料 : 6,400 円

受講生へのメッセージ

☆☆☆ レベル 1:

個別にあてて解答を求めることはしません。Σや∫をできるだけ使わずに説明します。扱う範囲は統計検定®3 級を想定しています。※統計検定®は一般財団法人統計質保証推進協会の登録商標です。

“Well-being”という言葉を見聞きする機会が増えてきました。“Well-being”には主観と客観を表す指標があります。客観的指標を理解するためには、統計学が威力を発揮します。そこで、高校で学ぶ範囲に軸を置き、“Well-being”も扱います。統計学の基礎・基本に再挑戦してみませんか？

日程	テーマ・内容	講 師
第 1 回 5/24	第 1 回__「なぜ “Well-being” に統計学が必要なのか」 ・ “Well-being” の概要を紹介した上で、なぜ、統計学を必要とするのかを説明します。データと情報の違い、データサイエンスと本講座の違い、データの性質・尺度、有意と無作為、統計学における実験、グラフでの表し方を取り上げます。	高谷 将宏 尚綱学院大学 客員教授
第 2 回 6/21	第 2 回__「データを扱ってみよう」 ・ 実際の値を基に 1 変数と 2 変数のデータを表で表してみます。また、時間の推移を扱う時系列データ、平均値などの代表値、散らばりを表す分散について再確認します。また、高校から中学に移行した箱ひげ図も念のため確認します。	
第 3 回 7/5	第 3 回__「関係性を数値で表そう」 ・ 内容 相関関係と因果関係、言葉から復習します。その上で、どのような注意点があるのかを確認します。また、レベル 1 相当の範囲内で、回帰直線に触れていきます。“Well-being” とすこし離れますが、確率にも挑戦します。	
第 4 回 7/19	第 4 回__「推測してみる」 ・ 「統計学的に有意である」という表現に触れることがあると思います。これはどのような意味でしょうか？ 深入りせず、意味を中心に確認していきます。最後に、客観的 “Well-being” の指標について、これまで学んだことを基に理解を試みます。	